

黒毛和種繁殖牛の飼料給与について

1 飼料給与の基本的な考え方

繁殖牛の繁殖ステージを大きく区分すると「授乳期」、「維持期」、「分娩期」に分けられます。各ステージで要求される養分量と、給与できる飼料の種類を参考に繁殖牛の飼料給与メニューを作成します。まず、「維持期」の飼料設計をしてから授乳や胎児の発育に必要な養分量を計算して「授乳期」と「分娩期」の飼料給与メニューを作成します。

「維持期」は粗飼料を主体に給与し、「授乳期」と「分娩期」の増給分は配合飼料等で給与するのが一般的です。

2 飼料給与の実際

繁殖牛を飼養する農家も多頭化が進み個別の飼養管理が難しくなっています。繁殖ステージの違う牛を同一の群で飼養するとエネルギー過剰やエネルギー不足の原因になり繁殖成績が悪化するおそれがあります。できるだけステージ別に牛を群分けして群別の飼料給与メニューで飼養してください。

3 成雌牛の維持に必要な養分量及び飼料の設計例

(1) 成雌牛の維持に要する養分量：1頭/日

体重(kg)	乾物摂取量(kg)	T D N (可消化養分総量：k g)	C P (粗蛋白質：g)	C a (g)	P (g)
400	5.55	2.71	449	12	13
450	6.06	2.96	486	14	15
500	6.56	3.21	523	15	16

(2) 維持飼料の設計例：1頭/日（牛群の平均体重＝450～500kg）

主とする粗飼料(kg)		組み合わせる飼料(kg)		
		稲ワラ	ハイキューブ	イネ科牧草ハイレージ
イネ科乾牧草 (乾物87.5%)	6.0	2.0		
イネ科牧草ハイレージ (乾物48.5%)	10.0	1.5		
とうもろこしサイレージ	12.0 10.0	2.0 2.0	1.0	4.0
飼料イネWCS	10.0 10.0		1.0 2.5	3.0

※配合飼料を給与する場合は1kgを上限に給与量に応じて粗飼料の給与量を減らします。

4 維持期以外のステージで繁殖牛に必要な養分量及び飼料の設計例

(1) 分娩前2ヶ月間に維持に加える養分量：1頭/日

乾物摂取量 (kg)	TDN (可消化養分総量：kg)	CP (粗蛋白質：g)	Ca (g)	P (g)
1.5	0.91	120	14	4

(2) 分娩前の飼料増給量の設計例：1頭/日（牛群の平均体重＝450～500kg）

	繁殖用配合飼料 (kg)	イネ科乾牧草	とうもろこしサイレージ
分娩前2ヶ月	1.5		
	0.5	1.5	
	0.5		3.0

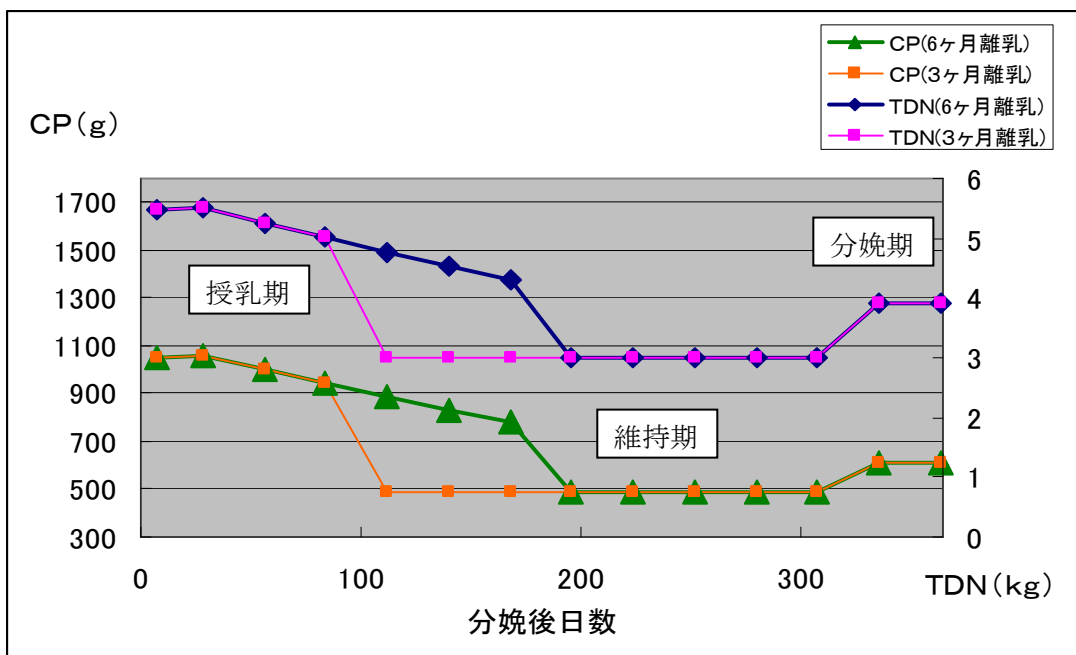
(3) 授乳期に維持に加える養分量：1頭/日

乳量(kg)	TDN (可消化養分総量：kg)	CP (粗蛋白質：g)	Ca (g)	P (g)
7.0	2.52	574	17.5	7.7
5.5	1.98	451	13.8	6.1
3.0	1.08	246	7.5	3.3

(4) 授乳期の飼料増給量の設計例：1頭/日（牛群の平均体重＝450～500kg）

泌乳期	乳量(kg)	繁殖用配合	ハイキューブ
泌乳前期	7.0	3.0	1.0
泌乳中期	5.5	2.0	0.5
泌乳後期	3.0	1.0	0.5

(5) 繁殖ステージ別養分要求量



※授乳に必要な養分が意外と大きいのが分かります。太らせないように注意しながら必要な養分を増し飼いで補給してください。